大東建託グループの価値創造プロセス

大東建託グループは、グループパーパス「託すをつなぎ、未来をひらく。」に基づく事業活動を通じて、社会に価値を提供し、社会課題の解決とグループの持続的な成長の両立を目指しています。事業活動によって得た資本をさらなる成長に再投資することで、価値創造の好循環を実現します。

価値創造源泉

6つの資本
P.17

1. 人的資本
2. 社会関係資本
3. 製造資本
4. 自然資本
5. 知的資本
6. 財務資本

※❶～❺は非財務資本

認識する社会課題
P.19

大東建託グループ一体の事業活動

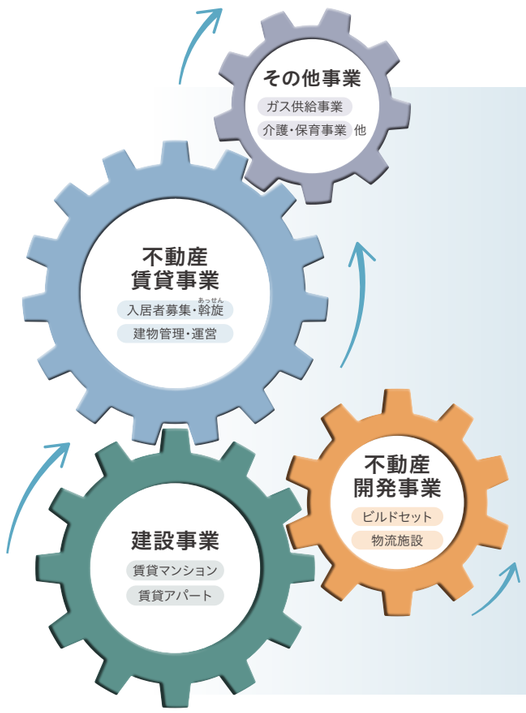
グループパーパス

託すをつなぎ、未来をひらく。

各社 経営理念（ミッション・ビジョン・バリュー）

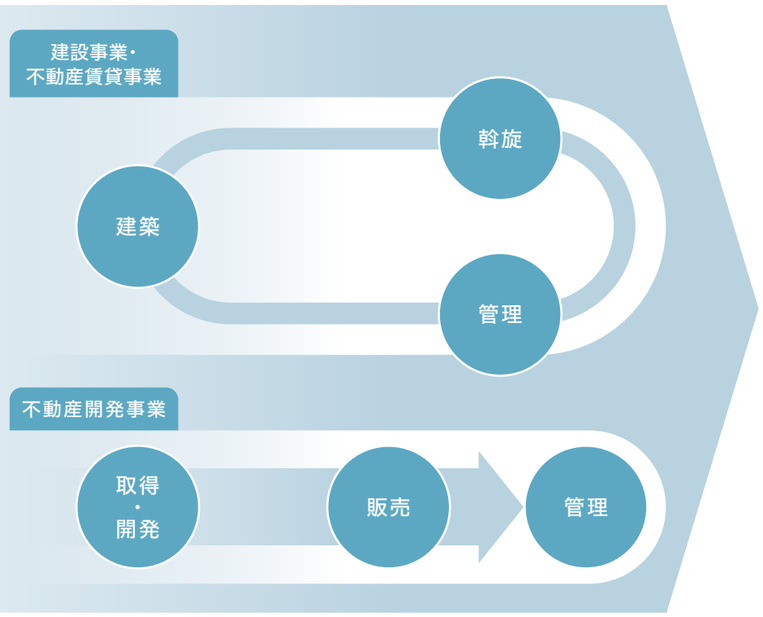
マテリアリティ／中期経営計画／VISION2030

価値創造の原動力



価値創出力を高める2軸のビジネスモデル

ストック・フロービジネス



提供価値

管理戸数
132.1万戸

斡旋件数
34.4万戸／年

グループ拠点（国内）
約1,200拠点

温室効果ガス排出量
約6.7万t-CO_{2e}

獲得価値

2026年目標

売上高
2兆円

営業利益
1,400億円

ROE
20%

配当性向
50%

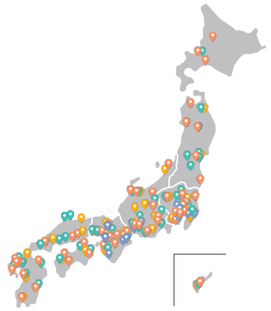
2030年目標

従業員エンゲージメントスコア
62.0（AA）以上を維持

社会への影響

環境配慮型住宅の供給
累計 67,570戸

防災拠点の配置
191拠点



人とまちがつながる
ruum（ルーム）登録者数
148万人

新しい暮らしと、新しい部屋に。
ruum

資本へ再投資